てんぐ新聞

07.12.No128
発行責任 市岡日出夫
0883-88-5292

07年も、もうかしこい終わりです。
皆さんお元気で新年をお迎え下さい。
ありがとうございました

再生へ 落合小3年の熱意

きえた『群生地』イヤギボウシ

裂谷の名前のついた「イヤギボウシ」のことは、群生地があり、旧東裂谷でも、昭和五十年代に、群生地と指定し、保護してきたはずでした。しかし、その場所は、個人の土地でもあり、今や人工林に囲まれてしまって、数株が見られるだけになってしまっている。

当時建てられた「群生地指定」の標柱も倒れてしまって、ほとんど人目も読めない状態になっている。旧池田高校裂谷分校に赴任していた安田先生の努力により、この度、落合小学校と城西高校と神山分校で育てられた苗を植えることを計画し、群生地の再生へ向けて大きな動きはじめました。

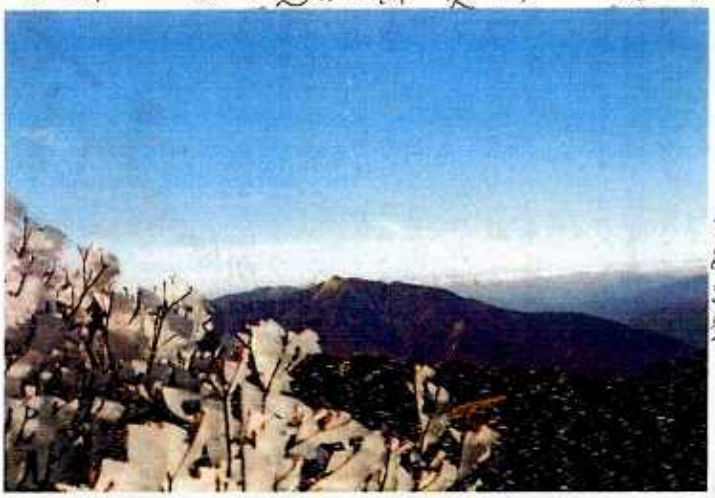
十一月五日、小雨降る中、落合小学校の子どもたちと、安田先生によって地元の人のご協力のもと苗を植えました。六ヶ所ぐらい区切りをつけ、成育状況を今後調査しながら、再生に向けて、計画的にとり組むことになりました。

苗を植えた後、落合小学校における、安田先生からの、神山分校のとり組みやイヤギボウシのことについてお話がありました。安田先生の熱心なとり組みで、いまやイヤギボウシでも、各家庭でも多く育っています。そのとり組みを落合小学校が受け継ぎ、毎年度、苗を採取し苗を育て続けています。

そして、今回、群生地の再生へ向けての取り組みがはじまりました。私たちは、こうした子どもたちが、自分の住んでる地域に目を向け、その素晴らしさを再発見していく姿は、多くの事を教えてくれるので、大いに学んでいく必要があるとおもいます。

なにもない所ばかりでも、自分の周りに目をむけるだけで、裂谷のいい面、価値ある自然が目へとうつります。

ただ、おさえ拡いつぎて、自分のまわりに植えるだけでなく、大切に育て、育てることになれば、植物の名前を書いて安心できるようになる。



富士正晴全国同人雑誌 人形浮瑠璃

裂谷とは関係ないけど、三好市の他の旧町村でも素晴しい人がいます。山城町(旧)出身の作家、富士正晴さんを記念した全国同人雑誌賞の表彰式があり、作家の津本陽氏から富士正晴さんの事を聞く機会があり、えらい人がいた人でもあると見直しました。

また、人形浮瑠璃公演も見る機会がありましたが、ここ小川また旧池田町出身の吉田勘彌氏(松浦)が三好市公演の際になって企画、構成、演出。

話をさることながら、全体の構成の素晴しさに大変感心がうたれました。

いいものを見せてもらった。故郷を見直す今こそ大切なことがあるよ！

三島忠夫